

独立行政法人国立美術館連携事業「国立美術館 コレクション・ダイアログ」
事務処理要領

令和5年2月24日

1. 作品の管理責任

(1) 作品に関するすべての事故に対する管理責任の区分は次のとおりとする。

① 独立行政法人国立美術館が設置する美術館（以下「国立美術館」という。）において梱包した作品を送り出してから、開催美術館・博物館（以下「開催館」という。）の展覧会場に到着後に開梱して陳列を終了するまでの管理責任は、国立美術館及び開催館が負うものとする。

② ①の開梱・陳列の終了から③の撤収・梱包までの管理責任は、開催館が負うものとする。

③ 展覧会の終了後、作品の撤収・梱包を開始してから、会場から搬出し、その作品を所蔵する国立美術館に搬入・開梱・返却するまでの管理責任は、国立美術館及び開催館が負うものとする。

(2) 作品展示の指導等のため、国立美術館から担当者を派遣する。

(3) 開催館は、国立美術館から派遣された担当者が作品の管理保全等に関して指示した事項を必ず実施すること。

2. 作品の点検と引継

国立美術館における梱包・搬出時、開催館の会場への搬入・開梱時、展示終了時の梱包・搬出時、及び国立美術館への搬入・開梱・返却時には、国立美術館及び開催館の担当者が立ち会うこと。

3. 協約書の作成

展覧会の実施に当たっては、国立美術館、国立アートリサーチセンター及び開催地の主催者の間で次の事項について事前に協議し、協約書を作成する。

(1) 会場及び会期

(2) 出品作品

(3) 作品の管理

(4) 経費の分担

(5) その他必要な事項

4. 図録の制作

出品作品に関する図録については、国立美術館及び開催館等において制作する。

5. 経費の負担区分

(1) 国立アートリサーチセンターが負担するもの

① 展覧会出品作品の梱包費、資材費及び集荷、輸送、搬入、展示、撤収、搬出、返却に係る経費

② 展覧会出品作品の保険に係る経費

③ 展覧会出品作品の事前調査及び打合せ並びに作品の点検・引継ぎに必要な開催地の主催者の担当者の旅費

④ 国立美術館から派遣する担当者の出張旅費（講演会講師等を含む）

⑤ 国立美術館の渉外用展覧会図録の制作費

(2) 開催地の主催者が負担するもの

① 開催館で実施する会議、講演会、イベント等に係る経費

② 会場設営に係る経費

③ 人件費および会場管理等に係る経費

④ 広報・宣伝費

⑤ 開催地の主催者が必要とする渉外用及び販売用として作成する展覧会図録の制作費

⑥ 第5項(1)に掲げる経費以外の経費

6. クレジットライン

展示会場掲示物、図録・印刷物、広報媒体等において、本事業の名称「国立美術館 コレクション・ダイアログ」又はそのロゴを表示することとする。併せて国立美術館及び国立アトリサーチセンターの名称又はロゴを主催者として表示することとする。

7. 観覧料収入等の帰属について

観覧料収入等（観覧料の他、図録販売収入等を含む。）については、開催地の主催者に帰属する。

8. 終了報告書の提出

開催地の主催者は、展覧会終了後1カ月以内に報告書を作成し、これを独立行政法人国立美術館理事長あてに提出する（報告書の記載要領は別紙様式を参照すること。）。

この場合、展覧会に関する資料（ポスター、宣伝広告、新聞等に掲載された記事及び写真記録等を含む。）を添付する。

9. その他

(1) 展覧会中止等の場合の責任

開催地の主催者は、自らの責めに帰すべき事由に基づき展覧会開催を中止又は延期等せざるを得ない場合には、次の責任を負うものとする。

ただし、天災地変や疫病の流行等の不可抗力、その他、開催地の主催者の責めに拠らない事由による場合は、この限りではない。

① 国立美術館に返却までの作品の管理及び保全

② 開催を中止または延期等することによって、新たな経費負担が生じた場合は、その経費の負担

(2) その他

この要領に拠り難い場合は、主催者間において協議の上、取り決めることができるものとする。

(別紙様式)

年 月 日

独立行政法人国立美術館理事長 殿

主催者代表

独立行政法人国立美術館連携事業
「国立美術館 コレクション・ダイアログ」
「〇〇〇〇展」
終了報告書について（提出）

標記の展覧会が終了しましたので、別紙のとおり、報告いたします。

1. 名称

2. 主催者

独立行政法人国立美術館〇〇〇
国立アートリサーチセンター
〇〇〇〇美術館

3. 協賛

4. 会期

年 月 日～ 年 月 日 (〇〇日間)

5. 会場

〇〇〇〇美術館

6. 入場者数

| | | | | | |
|------|----|-------|---|--------|---|
| 入場者数 | 人 | | | | |
| 有料合計 | 人： | 一般 | 人 | 大学生 | 人 |
| | | 高校生 | 人 | 団体（一般） | 人 |
| | | 割引 | 人 | 前売り | 人 |
| 無料合計 | 人： | 小・中学生 | 人 | 招待者 | 人 |
| | | 障がい者等 | 人 | その他 | 人 |

※入場者数は実情に合わせて詳細な内訳を記入すること

7. 収支決算書

収入

| 科目 | 金額 | 積算基礎 |
|--------|----|-----------------|
| 入場料収入 | 円 | 〇〇円×〇〇人、〇〇円×〇〇人 |
| 図録販売収入 | | 〇〇円×〇〇部 |
| 計 | | |

支出

| 科目 | 金額 | 積算基礎 |
|-------|----|---------------------------|
| 人件費 | 円 | ※この欄には、各科目の具体的な積算を記入すること。 |
| 出張費 | | |
| 会場設営費 | | |
| 宣伝費 | | |
| 印刷費 | | |
| 通信費 | | |
| 会議費 | | |
| 計 | | |

8. アンケート結果について

実施期間：〇〇年〇月〇日～〇月〇日 回収数：〇〇人

◇展覧会について

- ・とても良い (〇〇人, 〇〇%)
- ・良い (〇〇人, 〇〇%)
- ・普通 (〇〇人, 〇〇%)
- ・あまり良くない (〇〇人, 〇〇%)
- ・良くない (〇〇人, 〇〇%)

◇来館頻度について

- ・今回が初めて (〇〇人, 〇〇%)
- ・1～2回 (〇〇人, 〇〇%)
- ・3～5回 (〇〇人, 〇〇%)
- ・6回以上 (〇〇人, 〇〇%)

◇誰と来館したか(複数選択可)

- ・一人で (〇〇人, 〇〇%)
- ・友人・知人と (〇〇人, 〇〇%)
- ・恋人／パートナーと (〇〇人, 〇〇%)
- ・団体で(授業・観光ツアー等) (〇〇人, 〇〇%)
- ・家族と (〇〇人, 〇〇%)
- ・その他 (〇〇人, 〇〇%)

◇居住地について

- ・在館県 (〇〇人, 〇〇%)
- ・近隣県 (〇〇人, 〇〇%)
- ・各地方 (〇〇人, 〇〇%)

◇性別について

- ・男性 (〇〇人, 〇〇%)
- ・女性 (〇〇人, 〇〇%)
- ・回答しない (〇〇人, 〇〇%)

◇年代について

- ・9歳以下 (〇〇人, 〇〇%)
- ・10代 (〇〇人, 〇〇%)
- ・20代 (〇〇人, 〇〇%)
- ・30代 (〇〇人, 〇〇%)
- ・40代 (〇〇人, 〇〇%)
- ・50代 (〇〇人, 〇〇%)
- ・60代 (〇〇人, 〇〇%)
- ・70歳以上 (〇〇人, 〇〇%)
- ・回答しない (〇〇人, 〇〇%)

◇自由記述欄

- ・展覧会企画について、特筆すべき意見があれば、別紙に添付のこと

※開催館で必要に応じて調査項目の追加可。

※上記すべての調査項目等の記載があれば、様式は問わない。